

---

# アオキ檻

嘩月 - ka「d/z」uki -

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

アオキ檻

### 【コード】

N8460L

### 【作者名】

嘩月・k a r d / z r u k i

### 【あらすじ】

.....

その上下アオの疎外空間、視界一杯のアオに酔い潰れては目を回しました……。

く上の蒼く

重なる大気 散らばる。

斑点模様の天井。

跳ねて、跳ね返る青。

眩暈がする。

昼間、昼下がりに、暁の空には直線の赤。

今日の終りを鴉が報せる。

夕暮れ、夕闇、宵深まる頃は安堵する。

寡黙過ぎて夜は許してくれる。

く下の碧く

水分子の吸収 消えゆく。

透明冷淡の床板。

消えて、消え去ってゆく色。

吐気がする。

闇夜、病み上がり、紺碧の黒には人工色素。

人は眠りて流れに泳ぐ。

暗転、安楽、孤立部屋にて薄笑い。

やがて来る青達に怨みを込めて。

不意に知った自由たる黒。  
我が紅を持って辿り着こう。  
さらば、広大なアオキ檻。

（黒紅）

朝日、浅き意図、太陽昇る下で無気力に。  
今日の終りを鴉が報せる「その前に……」。  
明緋、通草の実、長楕円の実りが裂ける。  
散らばって咲いているのは歪な自我。

明鴉が鳴く。

紅き通草が裂く。  
宛がわれたアオ。  
さらば、広大なアオキ檻。

(後書き)

眩暈 めまい

寡黙 かもく

紺碧 こんぺき

明緋 / 通草 あけび

長檜円 ちようたえん

明鴉 あけがらす

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n8460/>

---

アオキ檻

2010年10月22日08時13分発行